

第2回 地域材を活用した木材利用セミナー

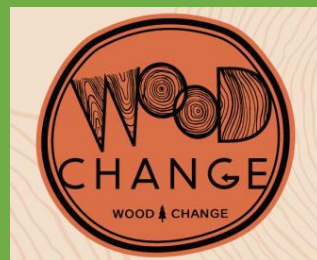
(ウッド・チェンジのすすめ)

昨年「公共建築物等木材利用促進法」が改正され、法律の対象が一般建築物まで拡大されたことにより、社会全体で木材を利用する機運が高まっています。しかし、公共施設や住宅における地域材の利用はある程度進んでいるものの、非住宅となる民間施設の木造化や木質化については、まだまだ進んでいない状況となっています。

一方、都市部では、企業が率先してビルや社屋などの中大規模建築物の木造化、木造とRC造のハイブリッド造の建築物が数多く計画・建築されています。

こうした背景は、SDGsやカーボンニュートラルの考えが広く認知されはじめたものと考えられ、企業のESG投資にもつながる取組みとなっています。

こうした状況を踏まえ、山形県内においても、民間企業が木材利用に関心を示してもらい、木造化や木質化の実践につなげていくための木材利用セミナーを開催いたします。



【セミナー開催案内】

- 日時 令和5年1月20日(金) 13:30~16:30
- 会場 山形国際ホテル 5F 鳥海 (山形市香澄町3-4-5)
- 定員 40名



第1部 基調講演 **テーマ** 山形の森をモリアゲよう！

【株式会社モリアゲ】～日本の森を盛り上げる～ 代表取締役 長野麻子氏 (元林野庁林政部 木材利用課長)

【プロフィール】

愛知県安城市生まれ。東京大学文学部フランス文学科卒。1994年に農林水産省に入省、林野庁企画課、フランス留学、バイオマス・ニッポン総合戦略検討チーム、大臣官房報道室長、新事業・食品産業政策課長などを歴任。2018年から3年間林野庁木材利用課長として、木材利用を促進するため「ウッド・チェンジ」を各地で推進。豊かな森を次代につなぐことを目指し2022年6月に早期退職。同年8月に日本の森を盛り上げる株式会社モリアゲ (<https://mori-age.jp>) を設立

第2部 トークセッション

テーマ 木があふれるやまがたの街づくりを目指して (仮称)

(各企業等の話題提供・質疑)

※モデレーター：長野麻子氏 ゲスト：行政・林業・木材産業・建築・金融関係者

【連絡先】 山形県木材産業協同組合 担当：高橋・堀米
住所 山形市松栄1-5-41 TEL：023-666-4800 FAX:023-646-8699
Mail: yamawood@mokusankyo.com

【主催/後援】 山形県木材産業協同組合、やまがた県産木材利用センター
村山地域林業振興協議会 【後援】 山形県

【令和4年度 国産材転換支援緊急対策事業】で実施しています。

【トークセッション】 出演者 紹介

(ゲスト予定者)

- ・ 山形市森林整備課 課長 石岡 純一 氏
市産材の活用、木材利用の基本方針の変更、新規事業等
- ・ 山形県森林組合連合会 代表理事専務 齋藤 潔 氏
県内の素材生産等、地域材全般を担う森林組合の代表
- ・ 山形城南木材市場 代表取締役 安部 雄祐 氏
県内外の木材流通に大きな影響力のある市場を運営
- ・ 山形県建築士会 副会長 石山 徳昭 氏
木材利用を促進する建築士等との連携強化
- ・ 山形銀行営業企画部 法人企画グループ 部長代理 小山 重憲 氏
県内全体に木材利用を進める企業等の意識醸成



建築用木材の 国産材への転換

国産材など品質・性能の確かな木材を使おう!!



山形で育った木だから、山形の風土に合う
そんな木材で建ててほしい



～山形しあわせウッド賞～ 知事顕彰施設

参加申込書 (第2回 地域材利用セミナー)

団体名		参加者名 (代表者氏名)	
住 所		参加者名	
連絡先 (電話)		参加者名	

【申込先】 山形県木材産業協同組合 FAX:023-646-8699

Mail:yamawood@mokusankyo.com

に FAX またはメールでお願いします。担当：高橋・堀米

(なお、定員に達した段階で、申し込みを締め切らせていただきますのでご了承ください)